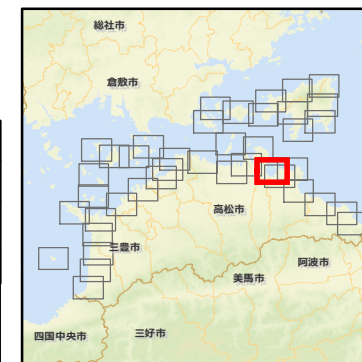


浸水深(m)

4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3



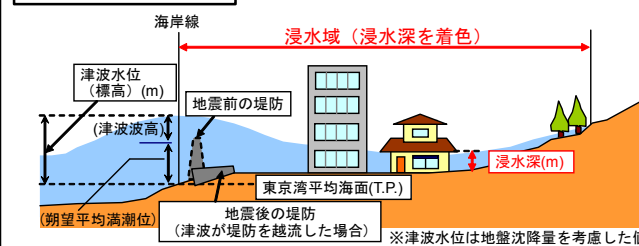
【南海トラフの発生頻度の高い津波】

最大クラスに比べ、規模は小さいものの、一定の頻度（数十年から百数十年に一度程度）で発生する津波を推計したもので、南海トラフで次に発生する津波を示したものではありません。

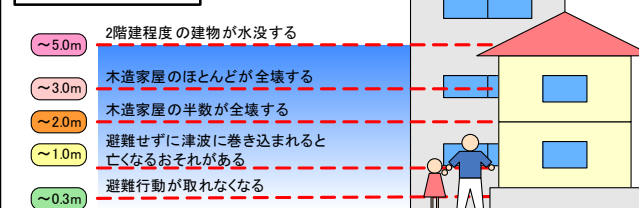
発生頻度の高い津波によって浸水すると想定される区域を、浸水深（浸水する深さ）ごとに示しています

- 地震発生時は、どのような規模の地震なのか分かりません。南海トラフの「最大クラスの津波」の浸水予測をご覧のうえ、避難対策を行いましょう。
- 実際は、この浸水区域どおりになるとは限りません。油断せず、揺れがおさまったら、すぐに避難を開始しまししょう。
- 避難先や避難経路をあらかじめ決めておきましょう。

浸水区域の説明



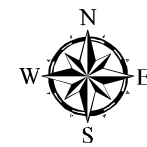
浸水深の目安



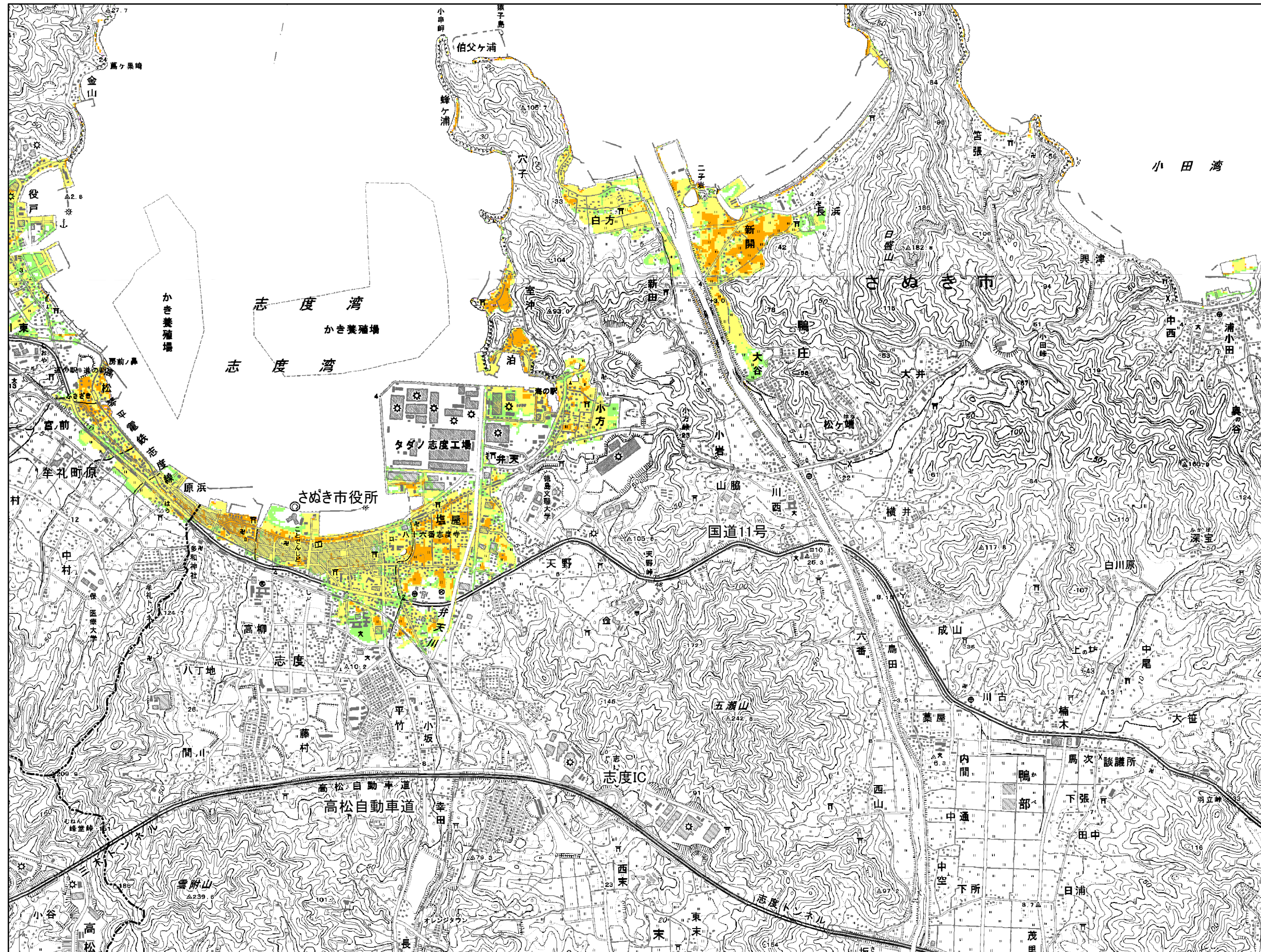
H24. 8. 29 内閣府公表資料より

発生頻度の高い津波浸水予測図

〈さぬき市②〉

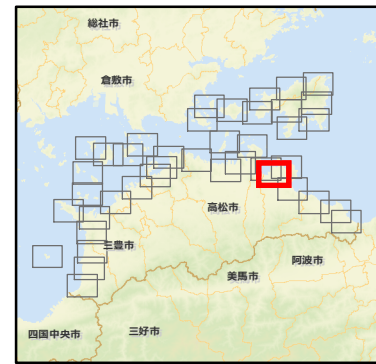


図面番号 17/40



浸水深(m)

4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3



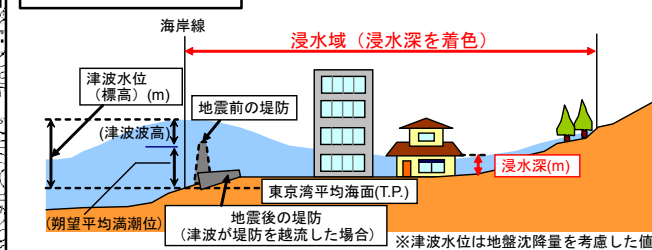
【南海トラフの発生頻度の高い津波】

最大クラスに比べ、規模は小さいものの、一定の頻度（数十年から百数十年に一度程度）で発生する津波を推計したもので、南海トラフで次に発生する津波を示したものではありません。

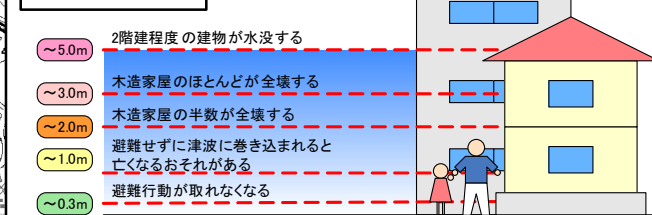
発生頻度の高い津波によって浸水すると想定される区域を、浸水深（浸水する深さ）ごとに示しています

- 地震発生時は、どのような規模の地震なのか分かりません。南海トラフの「最大クラスの津波」の浸水予測をご覧のうえ、避難対策を行いましょう。
- 実際は、この浸水区域どおりになるとは限りません。油断せず、揺れがおさまったら、すぐに避難を開始しまししょう。
- 避難先や避難経路をあらかじめ決めておきましょう。

浸水区域の説明



浸水深の目安

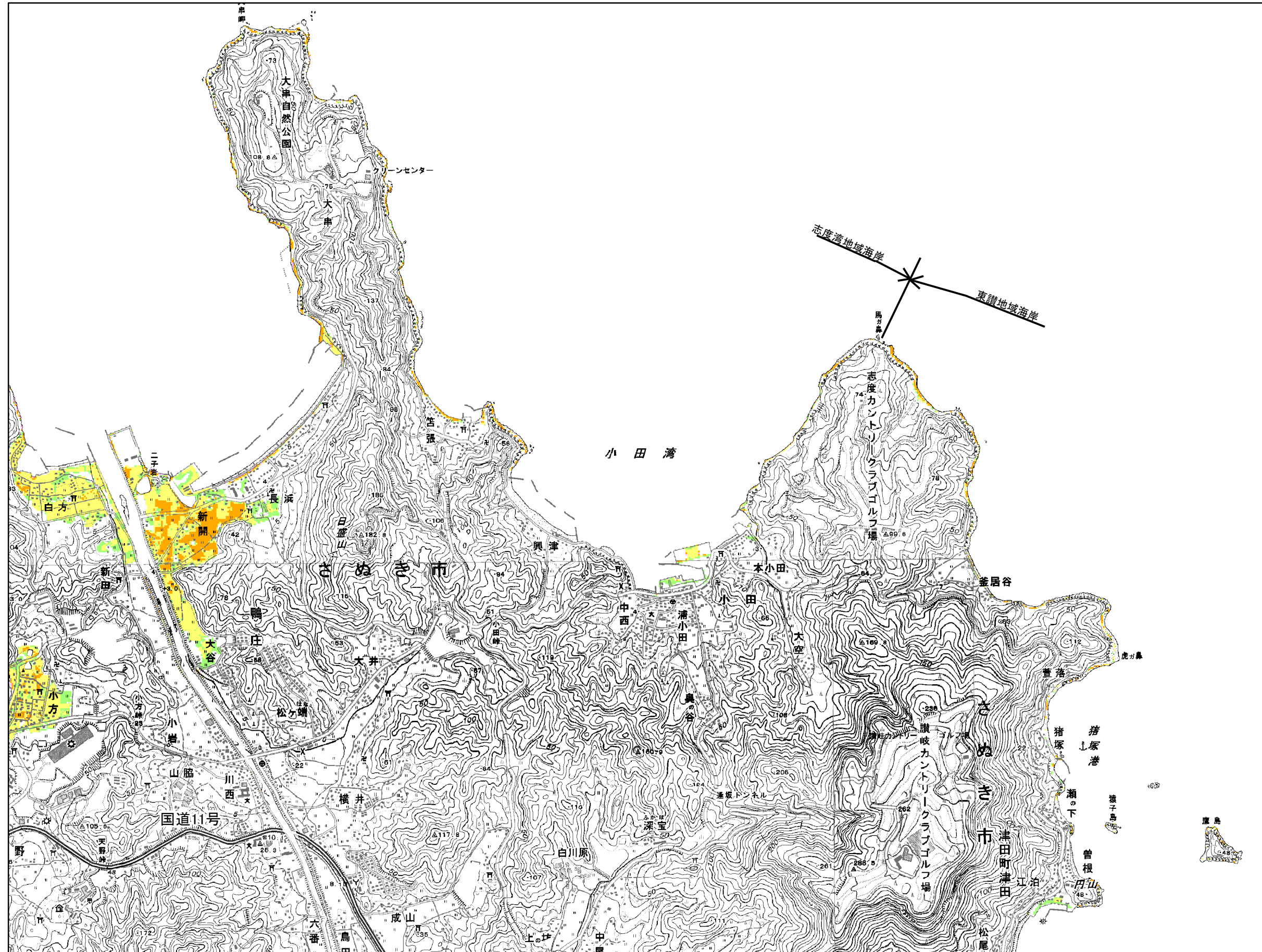
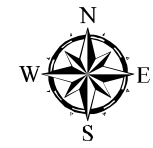


H24. 8. 29 内閣府公表資料より



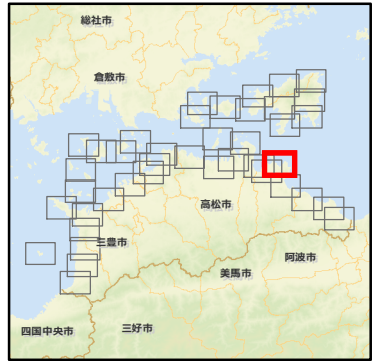
※津波は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることなどから、この図以上の津波が来ることもあります。
 ※本シミュレーションは地震による地盤沈降を考慮し（液状化沈下は考慮しない）、津波が堤防等乗り越えると破壊するものと仮定しています。
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである(承認番号 平成24情複、第930号)」

(C)Esri Japan



浸水深(m)

4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3



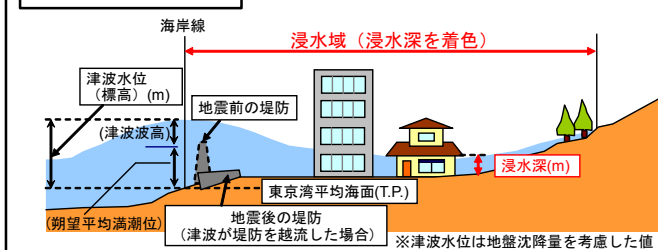
【南海トラフの発生頻度の高い津波】

最大クラスに比べ、規模は小さいものの、一定の頻度（数十年から百数十年に一度程度）で発生する津波を推計したもので、南海トラフで次に発生する津波を示したものではありません。

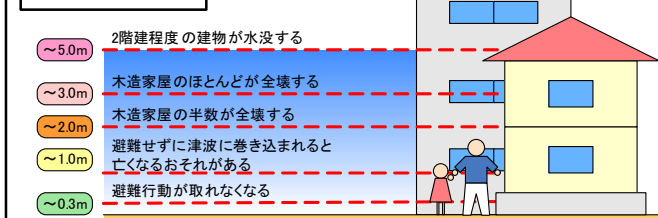
発生頻度の高い津波によって浸水すると想定される区域を、浸水深（浸水する深さ）ごとに示しています

- 地震発生時は、どのような規模の地震なのか分かりません。南海トラフの「最大クラスの津波」の浸水予測をご覧のうえ、避難対策を行いましょう。
- 実際は、この浸水区域どおりになるとは限りません。油断せず、揺れがおさまったら、すぐに避難を開始しましょう。
- 避難先や避難経路をあらかじめ決めておきましょう。

浸水区域の説明



浸水深の目安

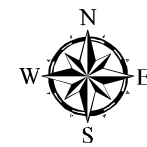


H24. 8. 29 内閣府公表資料より

※津波は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることなどから、この図以上の津波が来ることもあります。
 ※本シミュレーションは地震による地盤沈降を考慮し(液状化沈下は考慮しない)、津波が堤防等乗り越えると破壊するものと仮定しています。
 「この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである(承認番号 平成24情複、第930号)」

発生頻度の高い津波浸水予測図

<さぬき市④>

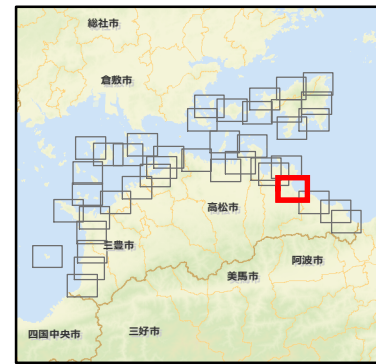


図面番号 19/40



浸水深(m)

4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3



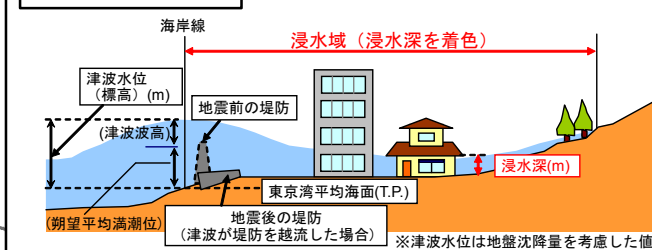
【南海トラフの発生頻度の高い津波】

最大クラスに比べ、規模は小さいものの、一定の頻度（数十年から百数十年に一度程度）で発生する津波を推計したもので、南海トラフで次に発生する津波を示したものではありません。

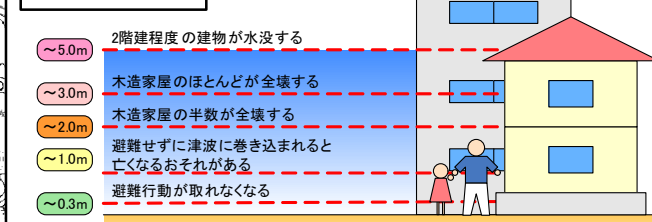
発生頻度の高い津波によって浸水すると想定される区域を、浸水深（浸水する深さ）ごとに示しています

- 地震発生時は、どのような規模の地震なのか分かりません。南海トラフの「最大クラスの津波」の浸水予測をご覧のうえ、避難対策を行きましょう。
- 実際は、この浸水区域どおりになるとは限りません。油断せず、揺れがおさまったら、すぐに避難を開始しましょう。
- 避難先や避難経路をあらかじめ決めておきましょう。

浸水区域の説明



浸水深の目安



H24. 8. 29 内閣府公表資料より



※津波は自然現象であり、不確実性を伴い、また、現在の科学では限界があることなどから、この図以上の津波が来ることもあります。
 ※本シミュレーションは地震による地盤沈降を考慮し(液状化沈下は考慮しない)、津波が堤防等を乗り越えると破壊するものと仮定しています。
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである(承認番号 平成24情複、第930号)」

(C)Esri Japan